

研修分科会

会場について

埼玉大学東京ステーションカレッジ
教室B をお借りして行います。場所
はJR東京駅日本橋口に隣接した
「サピアタワー」(34階建JRビル)の
9階です。(東京駅の各出口とサピア
タワーの位置関係は、下の図を参照。
外観は右図Googleストリートビューより。)



JR東京駅
サピアタワー入口

サピアタワーの来訪者受付は、エスカ
レータを上がって、3階「ビル入退場セ
キュリティゲート」での手続きが必要で
す。IAAL担当者が12:30~13:00の間、3階
来訪者受付にいますので、必ずこの時間内にお集まりください。

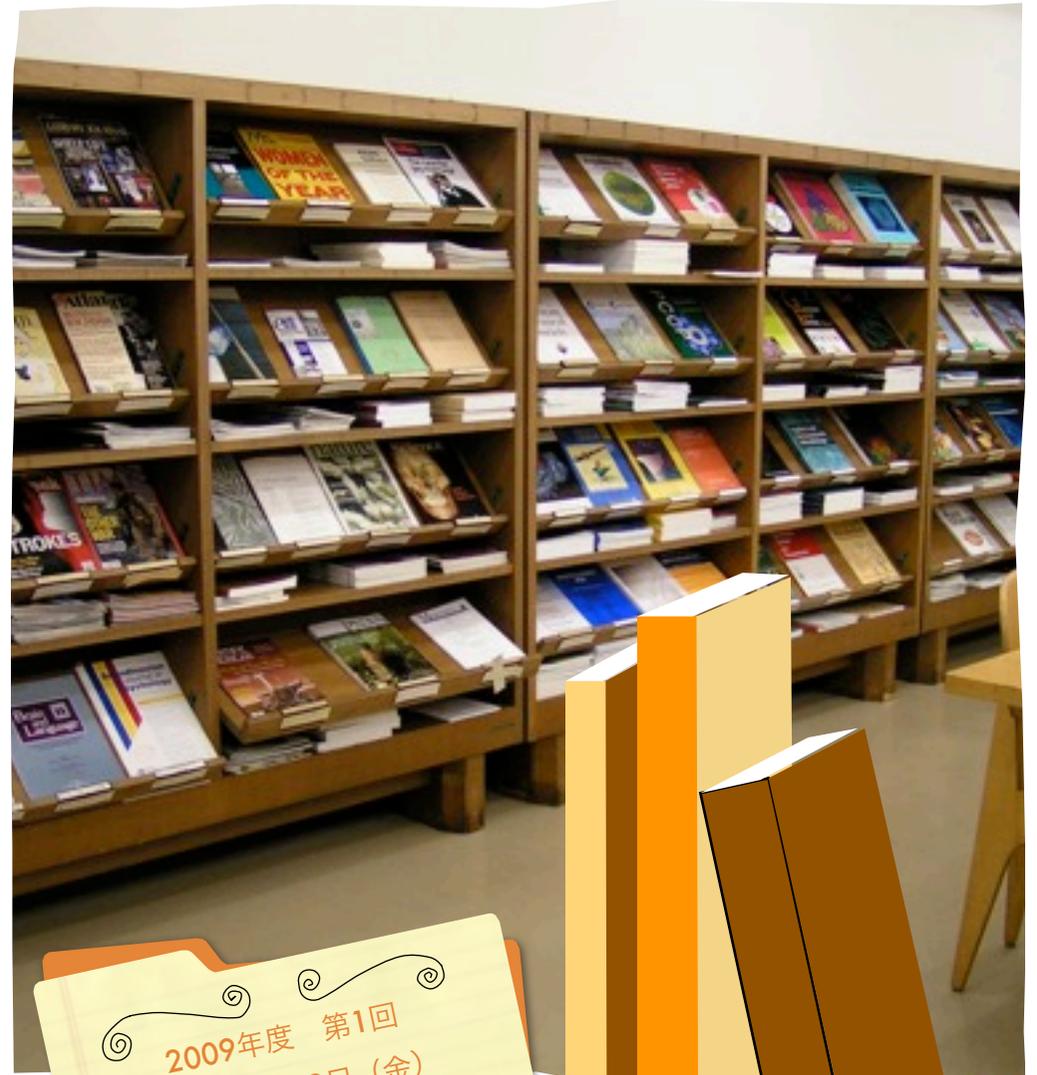
オフィス低層用エレベータで9階に上がります。

迷子になった場合は、高野(携帯:090-9828-7026)までご連絡ください。



住所

〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-7-12
JRサピアタワー9階



2009年度 第1回
2009年5月22日(金)
テーマ: 収集

第1回 収集

研修分科会 第1回 2009年5月22日（金）13:00-17:00

大学での研究・教育において、「知識の再生産」の原料を供給するのが図書館です。従って、いかに有効に資料を収集するかということは、大学図書館にとって重要な課題です。最近はいくつかの媒体の資料が、収集の対象となっています。また、ILL等で資料の共有化が進み、特色あるコレクションが大学の価値を左右するひとつの要素ともなります。第1回はこの「収集」がテーマです。

Time table

1:00-1:10	オリエンテーション
1:10-1:20	研修分科会趣旨説明
1:20-2:00	自己紹介
2:00-2:50	国公私立大学図書館のコンソーシアムの現状：森生也氏
3:05-3:55	補助金について（仮題）：中林雅士氏
3:55-4:35	グループ討議
4:35-4:55	発表
4:55-5:00	次回予告と事務連絡

休憩

研修分科会の企画について

現在大学図書館では、アウトソーシングが進み、専任職員には個々の業務を理解するだけでなく、マネジメント能力が求められています。マネジメントとは、大学図書館を俯瞰し、広い視野で方向性を見極めることではないでしょうか。この研修分科会では毎回テーマを決めて材料を提供しますので、参加者各自が自分の図書館を見つめ直し、大学図書館の役割を考える場にしたいと思っています。

また、大学の枠を越えた仲間作りの場にしていきたいと思っています。

事前の課題

皆さんの大学の蔵書の特徴と、自慢のコレクション（受入年代、購入・寄贈の別）を書式に記入して5月18日（月）までにメールで提出してください。自己紹介とともに発表していただきます。

講演と問題提起1

国公私立大学図書館コンソーシアムの現状

森生也氏（東京大学、埼玉大学等歴任の後、現在植草学園大学図書館）

電子ジャーナル及び学術文献データベースの収集と提供は大学図書館にとって不可欠の課題です。これらの情報資源の整備にあたっては多大な財源を確保することや、外国出版社・総代理店との契約に関わる折衝が必要となります。

「コンソーシアム」とは？学術情報資源の整備などの課題解決の方向性を考えていきましょう。

講演と問題提起2

外部資金獲得と図書館マネジメントについて

中林雅士氏（明治大学図書館）

図書館運営に関わる外部資金について、具体例を挙げながらどのように獲得し、図書館マネジメントを行うかを一緒に考えていきます。